



校長室だより

一步一步

NO 11

平成30年2月2日



昨年の12月から雪が多く降り冬将軍の到来が例年より早い冬となりました。加えて1月の後半「過去最高の寒波」がおしよせ日本全国が寒冷に包まれました。白峰でも氷点下の日々が続き雪も断続的に降り、運動場のジャングルジムが見えなくなりました。

そんな寒い中、子どもたちは元気に外で遊び、プレイルームでドッチボールに興じています。また、今週はなわとび週間なので、なわとび練習をがんばっています。中には半袖の子もいます。強いなあ后感心します。

2月は、「雪だるままつり」や「6年生を送る会」など大きな行事があります。みんなで力を合わせてよい会になるようがんばってほしいと思います。力を付けるよい機会の一つと思います。

一步一步・一つ一つ・ 自分のために



昨年末の学校全体での保護者会ありがとうございました。また、3学期に入るにあたって子ども達にいろいろお話もして下さったことでしょうか。お蔭様で、二学期の一時期よりは落ち着いた様子が見られます。ただ心の整理がうまくいかない子もまだまだいます。もちろん学習や自問清掃に黙々と取り組む子もたくさんいます。周りに流されず「やらなくてはならないことをやる、やってはいけないことはやらない」を実践できる自立心・自律心の育った子たちです。とてもうれしく思います。

心の整理のつかない子とは、「人がいやなことを言う」「人のものを粗末にする」「人をたたく」「だって～と注意をきかない」「わるふざけで、集団で失敗したことをはやす」「きにくわれないことがあると、執拗にいう」等々マイナスの行動です。マイナスのことを思ってしまうのは、人間ですから、仕方がないところもありますが、「思って」も「やってはいけない」のです。

「やってしまう」それを乗り越えて行ってほしいと思います。マイナスのことをしての「楽しい」や「正しいことのつもり」は本当の「楽しさ」「正しさ」ではないこと、プラスのことをして「しんどかったけれどよかった」「喜んでもらってよかった」という「楽しさ」「人を思いやっつての(心の)暖かさ」を味わってほしいと思います。

その「楽しさ」「暖かさ」がいっぱいになることが、白峰小学校が明るくよい学校になっていくのではないのでしょうか。そしてそれが結局は自分のためであることをわかってほしいと思います。自分の行動は、どんなことも全て自分に返ってくるからです。(昔から因果応報といわれ、最近の脳科学でも実証されているようです)

一人一人の行動で白峰小学校が出来上がっていきます。自覚し自律するよう「認め、励まし」の指導をがんばっていきます。またご家庭のご協力よろしくお願ひします。